

## 参考・引用文献

- 安 順姫, 芳賀 博, & 佐藤 美由紀. (2020). ポジティブ心理学的介入に基づくうつ予防教室終了後の自主グループ活動への継続参加に関する要因. 応用老年学, 14(1), 4-12.  
[https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eh0ohrou/2020/001401/002&name=0004-0012j&UserID=58.5.157.23&base=jamas\\_pdf](https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eh0ohrou/2020/001401/002&name=0004-0012j&UserID=58.5.157.23&base=jamas_pdf)
- 入江 柚希, & 平野 美千代. (2021). 介護予防を目的とした高齢者自主グループの集団凝集性の実態. 日本公衆衛生看護学会誌, 10(2), 53-61.  
[https://doi.org/10.15078/jjphn.10.2\\_53](https://doi.org/10.15078/jjphn.10.2_53)
- 植田 拓也, 倉岡 正高, 清野 諭, 小林 江里香, 服部 真治, 澤岡 詩野, 野藤 悠, 本川 佳子, 野中 久美子, 村山 洋史, & 藤原 佳典. (2022). 介護予防に資する「通いの場」の概念・類型および類型の活用方法の提案. 日本公衆衛生雑誌, 69(7), 497-504. <https://doi.org/10.11236/jph.21-140>
- 江口 佳奈, & 高澤 みどり. (2022). 新型コロナウイルス感染症流行下における健口体操を広める自主グループの活動について. 千葉県市町村歯科衛生士業務研究集, 令和3年度, 6-13. <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/kuchi/documents/r3-shuuroku.pdf>
- 江尻 愛美, 河合 恒, 安永 正史, 白部 麻樹, 伊藤 久美子, 植田 拓也, & 大淵 修一. (2021). 住民主体の通いの場における活動期間に応じた継続支援方法の考察. 日本公衆衛生雑誌, 68(7), 459-467. <https://doi.org/10.11236/jph.20-108>
- 江尻 愛美, 河合 恒, 安永 正史, 白部 麻樹, 伊藤 久美子, 植田 拓也, & 大淵 修一. (2022). 住民主体の通いの場における参加者の役割の違いによる課題認識と心理社会的健康の関連: 横断研究. 日本公衆衛生雑誌, 69(10), 805-813.  
<https://doi.org/10.11236/jph.21-155>
- 加藤 真弓, 山下 英美, 鳥居 昭久, 臼井 晴信, 幸村 美佐緒, & 祖父江 歩夢. (2018). 地域交流応援講座報告および高齢者の自主グループ継続に関わる課題の一考察. 愛知医療学院短期大学紀要, (9), 77-83.  
<https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=ez1aichi/2018/000009/011&name=0077-0083j&UserID=58.5.157.23>

株式会社日本能率協会総合研究所(2022). 新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場等の取組に関する調査【中間的報告】.

[https://www.jmar.co.jp/2022/02/28/2021\\_covid\\_kayoinoba\\_report%28H%29.pdf](https://www.jmar.co.jp/2022/02/28/2021_covid_kayoinoba_report%28H%29.pdf)

(検索日：2022年10月24日).

小宇佐 陽子, 清水 由美子, 李 相倫, 西 真理子, 藤原 佳典, & 新開 省二. (2012). 地域の保健・福祉の向上を目指した住民ボランティア育成への取り組み 埼玉県鳩山町におけるこれまでの歩みと今後の課題. 日本公衆衛生雑誌, 59(3), 161-

170. [https://doi.org/10.11236/jph.59.3\\_161](https://doi.org/10.11236/jph.59.3_161)

厚生労働省. (2021). 厚生労働白書[ウェブサイト].

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/03pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/03pdf_index.html).

(検索日：2022年12月27日)

厚生労働省. (2019). 一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会取りまとめ(参考資料)[ウェブサイト]. <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000576582.pdf>

(検索日：2022年12月27日)

厚生労働省. (2020). 介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(令和2年度分)に関する調査結果[ウェブサイト].

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000141576\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000141576_00008.html)

(検索日：2022年12月27日)

後藤 文彦, 渡邊 英弘, 中島 大貴, 井戸 尚則, 岡山 直樹, 富山 直輝, 木村 大介, & 長谷川 龍一. (2021). 介護予防を目的とした高齢者主体で運営される自主グループによるソーシャルサポート・ネットワークの変化. 理学療法科学, 36(4), 481-489.

<https://doi.org/10.1589/rika.36.481>

佐藤 美由紀, 齊藤 恭平, & 芳賀 博. (2017). アクションリサーチにより創出された住民主体の交流事業の10年後の評価. 応用老年学, 11(1), 49-60.

[https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eh0ohrou/2017/011101/006&name=0049-0060j&UserID=58.5.157.23&base=jamas\\_pdf](https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eh0ohrou/2017/011101/006&name=0049-0060j&UserID=58.5.157.23&base=jamas_pdf)

澤岡 詩野. (2020). 介護予防を目的とした高齢者の自主グループ活動で生じる課題：横浜市元気づくりステーション事業で世話役を担う高齢者の語りから. エイジレスフォー

- ラム：シニア社会学会誌，(18)，26-37.
- 杉田 由加里，& 石川 麻衣. (2014). ソーシャル・キャピタルの醸成に資する保健ボランティアの活動に対する保健師の関わり. 文化看護学会誌，6(1)，1-11. [https://doi.org/10.24658/bunkakango.6.1\\_1\\_1](https://doi.org/10.24658/bunkakango.6.1_1_1)
- 関本 真奈美，鈴木 知代，& 川村 佐和子. (2021). 住民主体の介護予防活動“通いの場”における活動の特徴. せいい看護学会誌，11(2)，7-14. <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2021195466>
- 田口 敦子，& 岡本 玲子. (2004). ヘルスプロモーションを推進する住民組織への保健師の支援過程の特徴. 日本地域看護学会誌，6(2)，19-27. [https://doi.org/10.20746/jachn.6.2\\_19](https://doi.org/10.20746/jachn.6.2_19)
- 中村 圭一，& 山田 孝. (2021). 「地域づくりによる介護予防推進支援事業」に対する高齢者のニーズ調査. 作業行動研究，24(4)，145-151. <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2021176706>
- 中村裕美子. (2020). 第7章 地域組織活動の展開. 中村裕美子編. 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術(pp.220). 医学書院
- 錦戸 典子，田口 敦子，麻原 きよみ，安斎 由貴子，蔭山 正子，都筑 千景，永田 智子，有本 梓，松坂 由香里，武内 奈緒子，& 村嶋 幸代. (2005). 保健師活動におけるグループ支援の方向性と特徴 既知見の統合による概念枠組み構築の試み. 日本地域看護学会誌，8(1)，46-52. [https://doi.org/10.20746/jachn.8.1\\_46](https://doi.org/10.20746/jachn.8.1_46)
- 日本老年医学会. (2014). フレイルに関する日本老年医学会からのステートメント[ウェブサイト]. [https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20140513\\_01\\_01.pdf](https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/pdf/20140513_01_01.pdf) (検索日：2022年12月27日)
- 橋口 博行，李 恩兒，大渕 修一，柴田 愛，中村 好男，& 岡 浩一郎. (2009). 都市部における高齢者の自主グループ活動を推進する要因 フォーカス・グループインタビューによる分析. 応用老年学，3(1)，68-77. <https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=eh0ohrou/2009/000301/013&name=0068-0077j&UserID=58.5.157.23>
- 早坂 玉緒，張 平平，& 大塚 眞理子. (2016). 自主グループにおける高齢者リーダーの継

続的な役割遂行に関する要因 介護予防(一次予防事業)の取り組みから. 千葉看護学会会誌, 21(2), 17-23.

<https://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=fg6chiba/2016/002102/003&name=0017-0023j&UserID=58.5.157.23>

Hikichi, H., Kondo, N., Kondo, K., Aida, J., Takeda, T., & Kawachi, I. (2015).

Effect of a community intervention programme promoting social interactions on functional disability prevention for older adults: propensity score matching and instrumental variable analyses, JAGES Taketoyo study. *Journal of epidemiology and community health*, 69(9), 905-910.

<https://doi.org/10.1136/jech-2014-205345>

保田 玲子, 清水 光子, 照井 レナ, 塚辺 繭子, & 松村 寛子. (2008). 地域に根ざす住民主体の健康づくりグループ活動の発展に関する一考察. *SCU Journal of Design & Nursing*, 2(1), 17-24.

[https://scu.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_action\\_common\\_download&item\\_id=86&item\\_no=1&attribute\\_id=22&file\\_no=1](https://scu.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download&item_id=86&item_no=1&attribute_id=22&file_no=1)

保田 玲子. (2011). 都市部における住民主体の健康づくりグループ活動の効果 グループ参加期間との関連. *SCU Journal of Design & Nursing*, 5(1), 61-67. <https://core.ac.uk/download/pdf/236368426.pdf>

村瀬 純子, & 飯田 澄美子. (2011). 中山間地域における自主グループの活動継続要因について. *保健の科学*, 53(4), 267-273.

山内 菜実, & 平野 美千代. (2021). 介護予防を目的とした開始期の自主グループの運営に関するリーダーの行動. *北海道公衆衛生学雑誌*, 34(2), 77-84.

吉田 礼維子, 和泉 比佐子, & 波川 京子. (2011). 介護予防システムを推進する活動 保健師と住民との協働に焦点をあてて. *社会医学研究*, 28(1), 65-73. <http://jssm.umin.jp/report/no28-1/28-1-07.pdf>